

ファーマパッケージング事業の成長戦略

2021年11月18日

取締役 ファーマパッケージング事業部長

岩佐 昌暢



目次

1

半期決算の概況

- 2020年度上半期～2021年度上半期
- 2020年度実績～2021年度通期見込

2

市場環境および事業戦略

3

商品ポートフォリオの拡充

4

地域戦略（中国）

事業部の損益状況（上半期・通期見込）

単位：億円	2020年度上半期	2021年度上半期	増減額	前期比率
	合計	合計		
【売上高】 ※	230	265	+35	115%
うち外部顧客向け	200	234	+34	117%
【売上原価】	189	207	+18	109%
【売上総利益】	41	58	+17	141%
【販売費及び一般管理費】	31	37	+6	119%
【営業利益】	10	21	+11	210%
営業利益率	4%	8%		

単位：億円	2020年度実績	2021年度見込	増減額	前期比率
	合計	合計		
【売上高】	448	531	+83	119%
うち外部顧客向け	387	472	+85	122%
【売上原価】	366	420	+54	115%
【売上総利益】	82	111	+29	135%
【販売費及び一般管理費】	62	76	+14	123%
【営業利益】	20	35	+15	175%
営業利益率	4%	7%		

※売上高は、外部顧客向け売上高にグループ内の他の事業部向けの出荷額（主としてニプロファーマ株向け）を合算した金額として表示



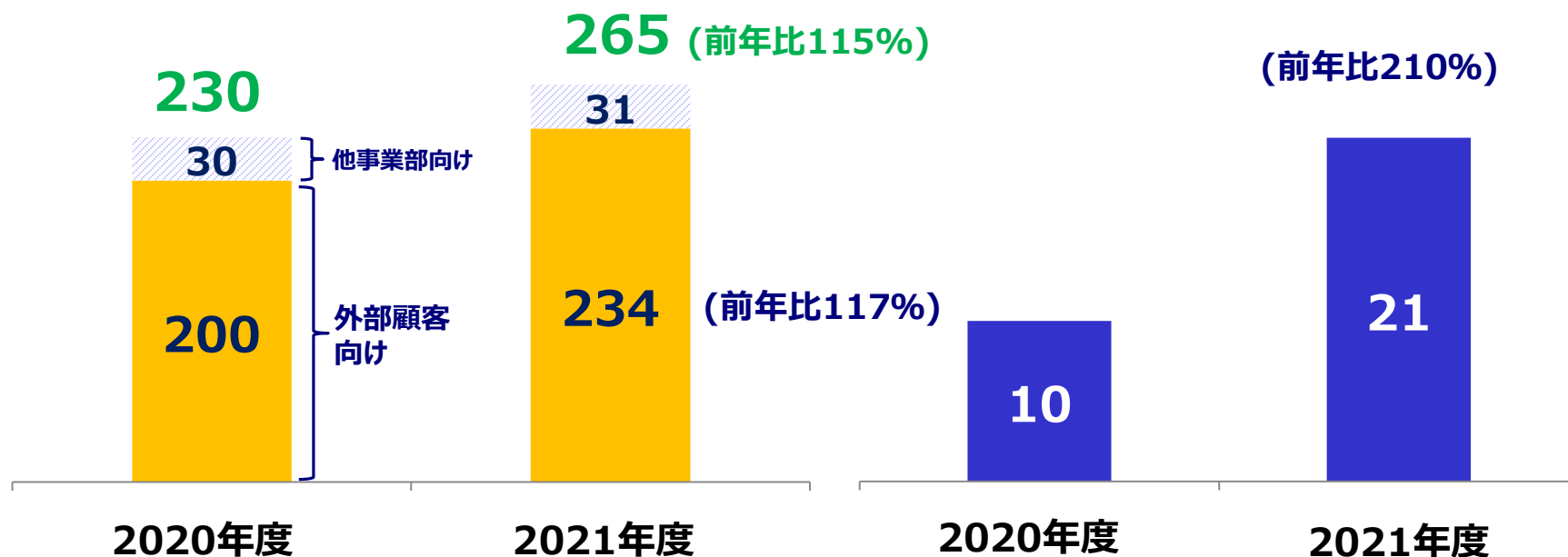
損益推移 上半期（売上高・営業利益）

- ◆ 欧米・インド : バイアル・滅菌済ガラスシリンジの出荷が好調、バイアルの受注取消に伴うキャンセルフィーの計上
- ◆ 中国 : COVID-19ワクチン用容器の生産・販売が急拡大
- ◆ 日本 : デンタル針・歯科用麻酔剤の回復が牽引、バイアルの生産性向上

売上高

営業利益

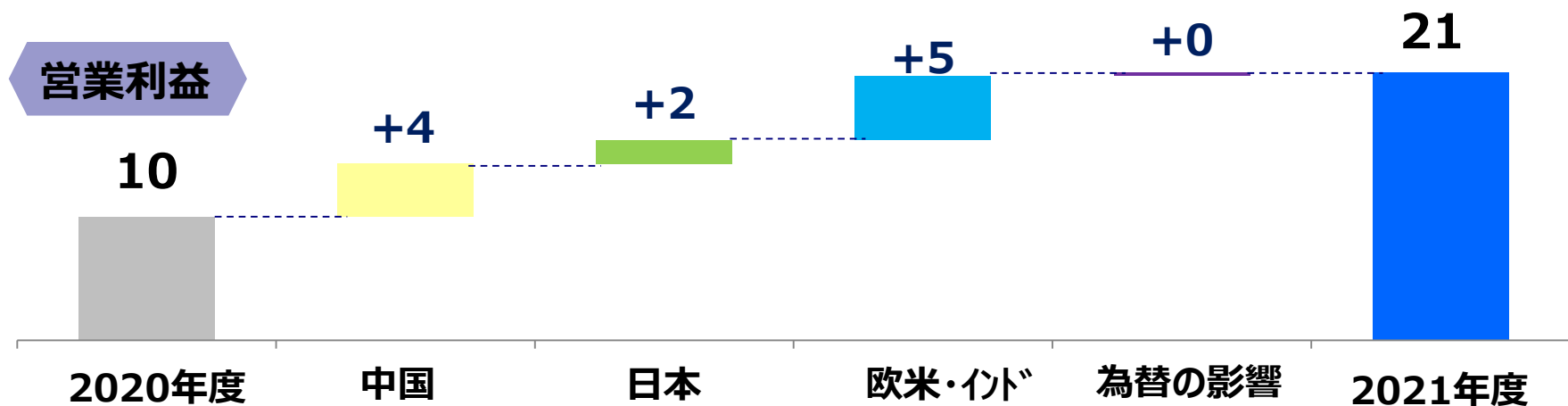
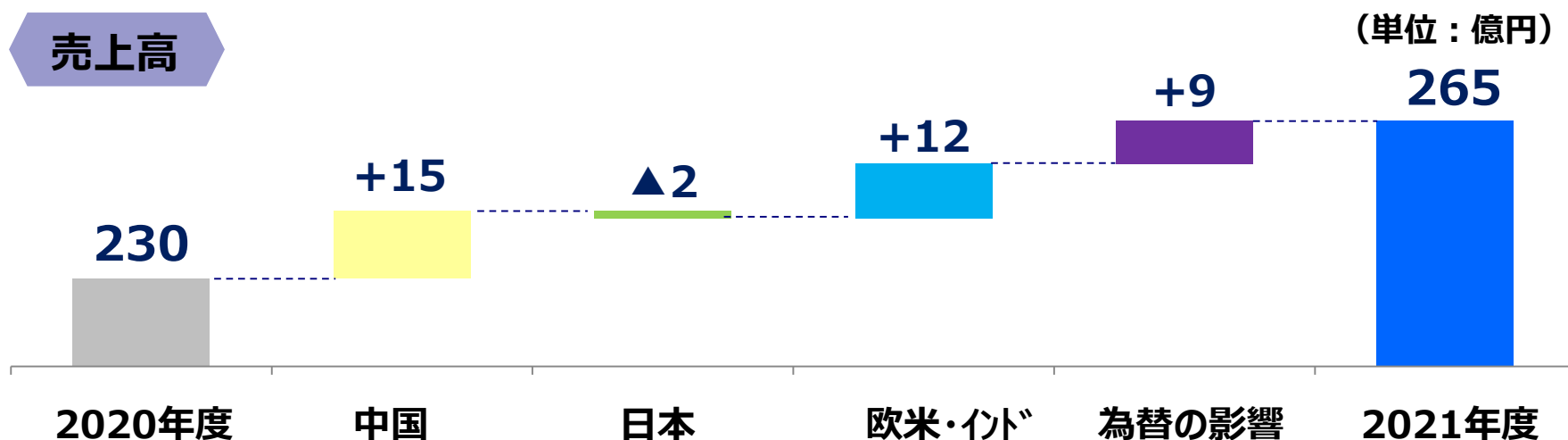
(単位：億円)



レート	2020年2Q	2021年2Q
USD	108.24	108.45
EUR	119.40	130.46
CNY	15.32	16.76
INR	1.47	1.49
RUB	1.54	1.45



損益分析 上半期 (売上高・営業利益)

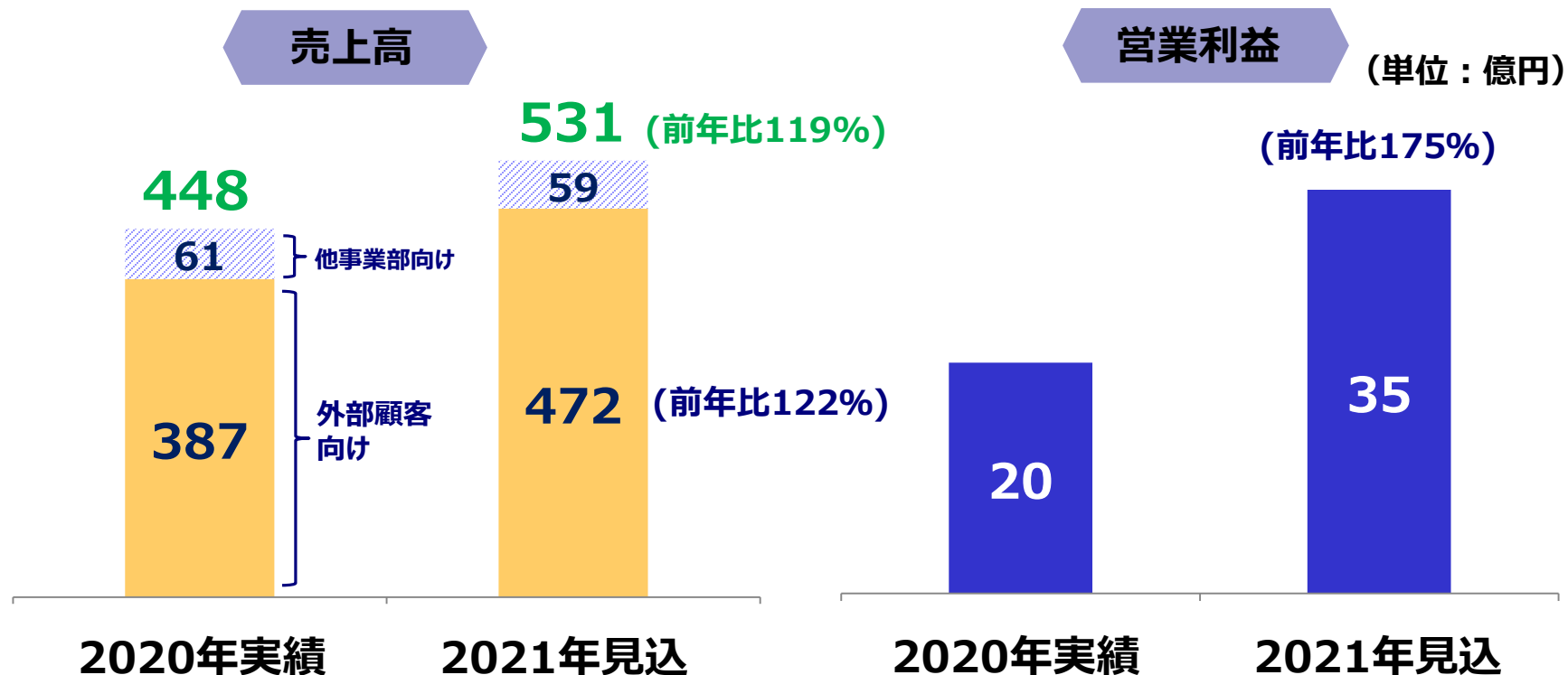


レート	2020年2Q	2021年2Q
USD	108.24	108.45
EUR	119.40	130.46
CNY	15.32	16.76
INR	1.47	1.49
RUB	1.54	1.45



損益推移 通期見込 (売上高・営業利益)

◆ 下半期も上半期同様、堅調な出荷を見込むが、利益面ではカンセーション・フィーが上半期に集中したことからやや減少傾向



*日本売上高は海外子会社・内部売上高を除く

レート	2020年実績	2021年見込
USD	106.43	107.00
EUR	121.97	129.00
CNY	15.42	16.50
INR	1.45	1.48
RUB	1.46	1.42

市場を取り巻く環境

医療先進国

- 注射剤が減少し経口剤
徐効製剤に移行
- ⇒ 薬剤に適した高機能
容器が求められる

全世界共通

⇒ヘルスケア政策
を国策として実行

医療途上国

- 中間所得者層の増加を
背景にジェネリック医薬
品の数量増
- ⇒ 容器需要が拡大
- ⇒ 低コストで数量増
地産地消

医薬品に最も適した容器と投与システムを企画・開発・
製造し医薬品メーカー及び医療現場に提供する

事業戦略の概要

～2030年 売上高1,000億円に向けて～

商品競争力の向上

- ・顧客ニーズの迅速な商品化
- ・価格競争力に秀でた開発
- ・既存商品の高品質化・高付加価値化
- ・新規商品の開発



VIALEX



D2F
Direct To Fill

安定供給体制の整備

- ・生産能力の段階的増強
- ・新規製造拠点の設置
- ・製造ポートフォリオの最適化
- ・柔軟なサプライチェーン体制の構築

市場カバー率の拡大

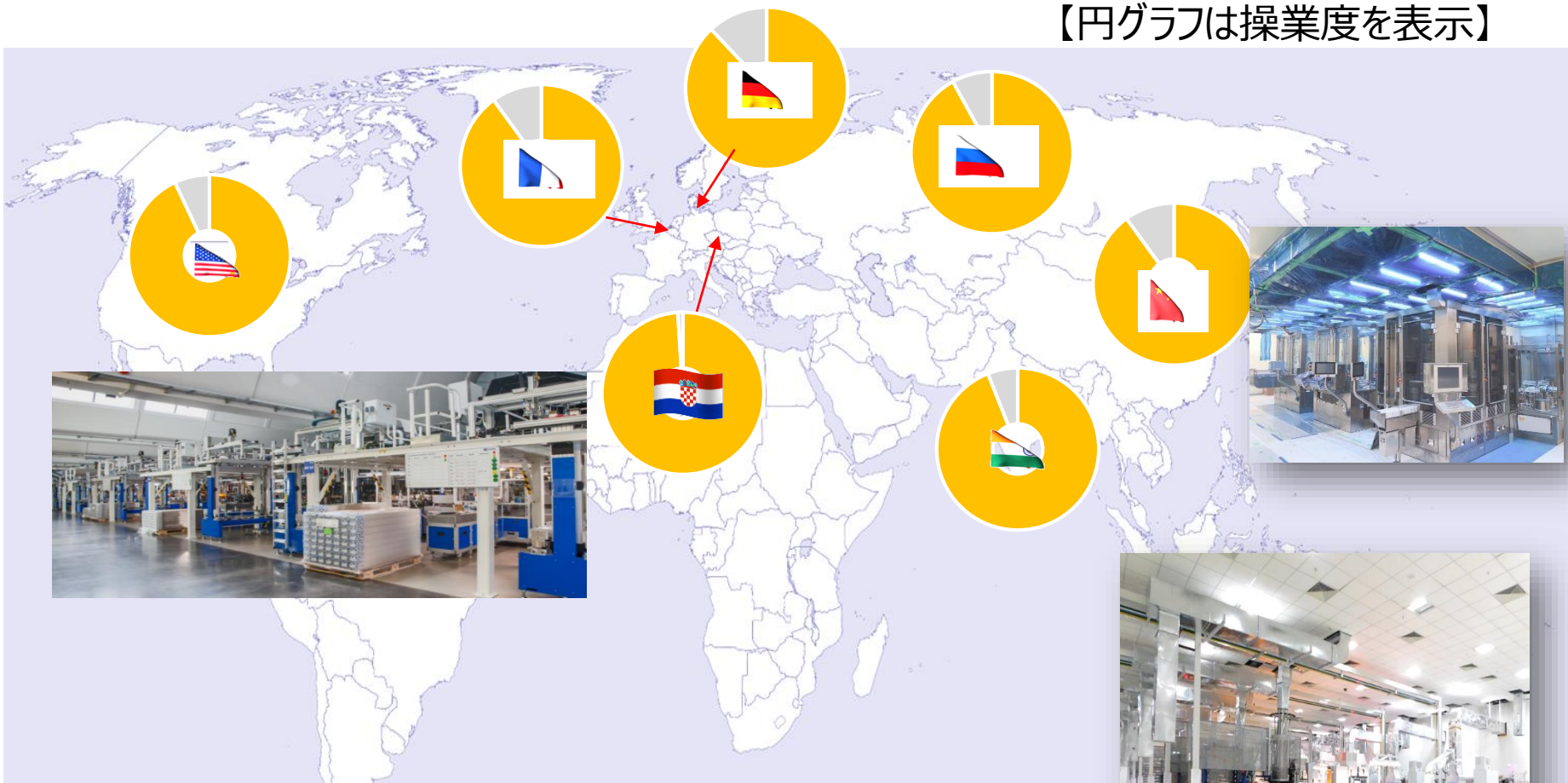
- ・新規市場の開拓
- ・成長市場における販促強化
- ・ブランド品のシェア向上
- ・ワンストップ・ソリューションの提供
- ・商品コンセプトの統一化

製造原価の削減

- ・工程自動化による生産性の向上
- ・品質基準、品質保証システムの統一化
- ・人財育成と製造技術の蓄積

海外製造拠点の来期操業予測

【円グラフは操業度を表示】



各拠点の生産設備はほぼフル稼働
⇒増産体制の構築が急務

生地管製造工場の建設（フランス・オマール工場）



（土地面積：約3万㎡ / 2021年11月撮影）

生地管増産に向けたマイルストーン (フランス・オマール工場)



⇒生産能力は従来比で1.6倍
(2024年の2号炉竣工後は2.3倍)



細胞医薬品製造関連資材(シングルユースバッグ)

■ シングルユース製品とは？

- バイオ医薬品製造に用いられる、使用回数が1回（単回使用）のプラスチック製品のこと（バッグ、フィルタ、コネクタ等）

【需要増加の背景】

- 高分子・高価格のバイオ医薬品が新薬の主流となる中、柔軟なスケール対応、洗浄バリデーションの省略、コンタミネーションの防止等、効率的で安全性の高い製造プロセスの実現が求められている

【バッグ市場】

- 国内市場の9割以上は、海外メーカーが占有するが、新型コロナワクチン増産に伴う関連資材の世界的な供給不安が広がる中、国産化のニーズ増

⇒ニプロが有する医療機器や医薬品容器の関連技術を駆使するとともにグループ内での供給体制を構築することで市場ニーズに対応



主要な開発品

■ 経鼻デバイス

インフルエンザ、コロナワクチン用製剤向け
特殊な技術開発により確実に適量を噴霧できる仕様



■ シングルユース製品

バイオ医薬品向けの培地用製品、バッグ・コネクタ等を国内供給できるよう
対応中

■ 高品質医療用ゴム栓

ラミネート加工を行い溶出性、安定性を高めたハイエンドな医療用ゴム栓



■ 大容量バイアルの低溶出化

従来低溶出加工が難しかった大容量バイアルについても小・中
容量と同水準の溶出性を確保できるよう検討中



中国事業の現況

2021年見込

■売上高：約**78億円**（対前年+40億円）

■営業利益：約**6億円**（対前年+8億円）

重点方針

グローバル基準品（バイアル・アンプル）の拡販
シリンジ(D2F™)、VIALEX™、カートリッジ
及び調製・投与デバイスの市場導入

■大手製薬向けのワクチン用バイアルの出荷は堅調

■COVID-19ワクチン容器としての滅菌済ガラス
シリンジの出荷を開始

■カートリッジについては、近日中に販売開始

■医療デバイス・ゴム栓の販売登録及び上市（予定）



中国医薬品および医薬品容器市場の概況

✓ 医薬品業界の量から質への転換が加速

■ 国による重点振興分野に指定 ⇒ 医薬品産業の発展

「中国製造2025プラン」において、「バイオ医薬・高性能医療機器」は10大重点分野に指定。
COVID-19ワクチンを含め新薬の研究・開発が一層活発化。

■ 「一貫性評価」の推進 ⇒ 医薬品品質の向上（グローバル基準生地管への転換）

同等性試験制度に基づく医薬品の再評価が順次、進行中（～2027年）。
注射剤の容器については、低ホウケイ酸ガラスまたはソーダライムガラスは推奨しない旨が明示。

■ 医療費の抑制策 ⇒ 製薬企業の淘汰・集約

公定価格制度が終了し、医療用医薬品は自由価格で流通している。
大都市では集中購買入札による大幅な価格競争が激化している。

■ 急速な高齢化 ⇒ 医薬品の市場の拡大

中国の総人口(14.4億人)に対する高齢化率は約12%（2020年）⇒ 約17%（2030年）
増加人数は約7,500万人。

差別化戦略

✓成長市場における市場創出とニーズを取り込むための施策を推進

●高付加価値品の供給

高分子薬に適応した低溶出バイアル（VIALEX™）、製剤充填工程の低コスト化を支援する滅菌済シリンジ（D2F™）を中心に市場を拡販し、供給体制を確立する。

※現在はグループ会社からの輸入だが、現地生産を検討中。

●医薬品用ガラス容器の多様な品揃え

伝統的なバイアル、アンプルのほかシリンジやカートリッジといった広範な生産体制を有することで、幅広い顧客ニーズへの対応が可能である。

●周辺部材を含めたワンストップソリューションの提供

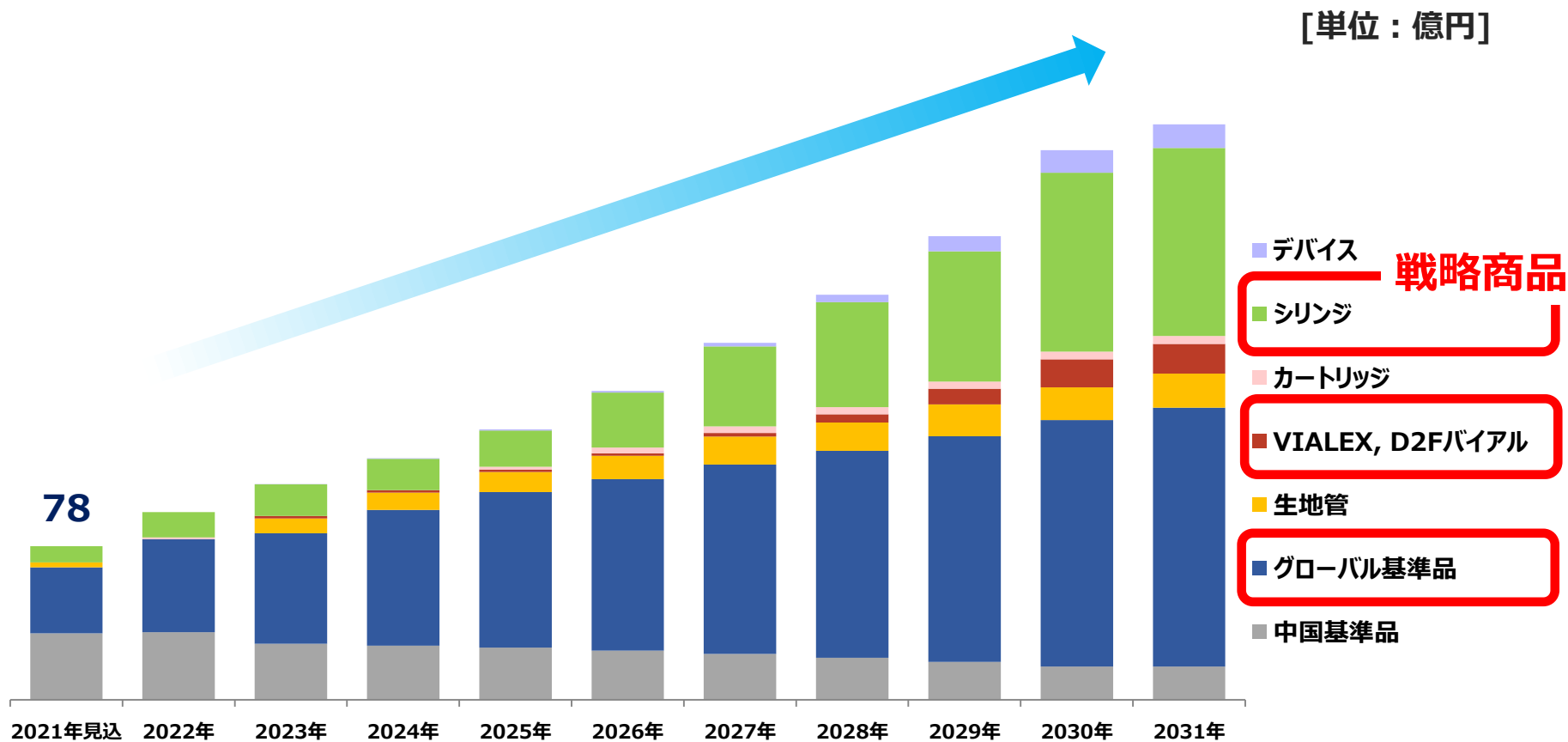
ガラス容器のほか、ゴム栓やデバイス、プラスチック容器、針、医療器具等の開発・製造機能を部分的或いは総合的に活用することで、顧客のシーズを含めた広範な課題解決に寄与し、ブランドの育成に努める。

●グローバルネットワークの活用

欧米、インド、日本に製造拠点を構えることから、生地管、ガラス容器等のサプライチェーンを柔軟に活用することで、BCP対策を含めた供給体制を補強する。

中国における中長期販売計画

戦略商品の拡販および市場創出により2030年までに売上高200億円突破



事業部のグローバルネットワーク

8カ国 12社 15工場
社員数約3千名 (2021.9.30現在)



ファーマパッケージング事業部は、
医療・医薬の分野で培った技術とノウハウを基に、
医薬用総合容器メーカーとして、
真に必要とされる先進的商品を供給することで事業拡大を行い、
世界中の人々の健康に貢献して参ります。

ご清聴ありがとうございました